



「はっぴい!FM」は昨年7月22日、佐世保に開局したコミュニティFM。コミュニティFMとは、地域限定・地域密着型の放送局。周波数は87.3MHz。毎日生放送でフレッシュな情報を伝えるとともに、災害時の情報提供も行う放送メディアです。放送時間は7時～23時。  
http://happyfm873.com/



よっしい 情報番組「はっぴいモーニング」(毎週月曜～金曜、7時～8時55分)、バラエティー番組「はっぴい羅針盤」(毎週火・木曜、12時～13時55分)を担当。「はっぴい!FM」開局当初からパーソナリティを務める。

昨年7月、生放送でフレッシュな情報を発信する「はっぴい!FM」が開局し、もうすぐ1年。今回はその「はっぴい!FM」からパーソナリティのよっしいさんを迎え、市長就任後1年を経過した朝長市長とこれまでの感想、今後の抱負などについて話していただきました。

市長とよっしい対談  
1年間の振り返りと今後の抱負…



佐世保市長 朝長則男 × よっしい はっぴい!FMパーソナリティ

とても良い1年でした

**よっしい** 昨年4月30日に市長に就任されて1年が経ちました。この1年を振り返って、いかがでしたか?

**市長** スケジュールの過密さは予想以上でしたけど、苦労とはあまり感じませんでしたね。市長職とは本来そうあるべきだろうから、当たり前のことだと受け止めてやってきました。土、日や祝日も地域のいろんなイベントや会合に参加させていただきました。多くの皆さんと触れ合うことができて、とても良い1年だったと思います。

**よっしい** 「自分が選んだ道だから苦労だと思わない」というお話がありました。私も同じような感想を持っています。私はマスコミ関係の経験がなく、パーソナリティの研修中も不安でいっぱいでした。でも人と話すことは好きだったので、それを仕事に生かして頑張ろうという思いで続けてきました。生放送ですので、気分が乗らなかつたり、落ち込んだりした日もありましたが、リスナーの皆さんに支えられて本当に楽しい1年間になりました。

市長車は好評です

**よっしい** 先ほど市役所玄関前で市長車を拝見しました。黒塗りの公用

車というイメージがあったので、実際に見て驚きました。どうして変更されたんですか?

**市長** 町の中や周辺地域を訪れるときに、黒塗りの公用車で出向くと、周囲に威圧感を与えてしまうんじゃないかと思っただけです。また移動には小回りの効く車が便利ですしね。それでワンボックスカーに替えたいんです。今の公用車なら1台の車に人がたくさん乗れるので、移動中にミーティングもできるし、ガソリン代も節約できて効率的ですよ。

**よっしい** おいしそうな写真のシートが張ってありますよね。

**市長** 公用車もただ走るだけではなく、佐世保の観光名所や特産物をプロントしたマグネットシートを張って走れば広報になると思いついたんです。シートは季節ごとに張り替えているんですよ。市民の皆さんや他の市長さんなどにも好評です。

**よっしい** すごくいい取り組みだと思います。そのような車に乗っている市長にも、市政にも市民は親近感を持てると思います。



ごみ袋購入補助券方式へ

**よっしい** 今、市で取り組んでいるいろいろな施策がありますが、日常生活で非常に重要な「ごみ有料化制度の見直し」について聞かせてください。

**市長** まず、2段階有料化制度の考え方は堅持しているかと思っただけです。2段階方式とは、ごみ処理手数料が一定量までは無料で、一定量を超える则有料になるというものです。ごみ袋の有料化だけで実施する1段階方式で十分だという声もありますが、最初から全員が同じお金を払うのであれば、頑張っただけの人が報われる機会がありません。2段階方式ならば、手数料が無料の範囲内に収めるように心掛けますから、ごみの減量につながるというわけです。そこが大事な点ですね。

今はシールを張る手間の解消策を検討しているところです。来年1月から「指定ごみ袋購入補助券方式」へ変更できるよう準備を進めています。この方式は、補助券があれば袋代だけで袋を購入でき、補助券がなければ袋代とごみ処理手数料を合わせた価格で袋を購入しなければならぬというものです。袋自体も厚さを増して、取っ手を付けるなど、皆さんの意見を反映させて改良するようにしています。

とにかく、まずは皆さんにごみを

減らすことが地球環境を守るんだと言った意識を強く持っていただきたいと思っています。

**よっしい** 普段生活している状況だけでみれば「面倒くさい」「何でそこまでしなきゃいけないの」と考えがちですけど、実際に環境問題や佐世保のごみ排出量の現状を考えると、みんなを取り組んでいかなければならないという気持ちになりますね。この件は今後、環境部の方からもお話を聞いて、リスナーの皆さんに広く伝えていきたいと思っています。

「人の交流」の拠点に

**よっしい** 「ポータルネットワーク21計画」(本紙前号で特集)も気になります。

**市長** 周辺の商店街にも大きく影響する計画ですが、商業施設の事業者からでは、できる限り地元の皆さんに出店していただいて、ビジネスチャンスを広げながらやっていくと提案していただいているので、今後、この商業施設が人が集まる魅力的な街づくりの新しい核となり、三ヶ町、四ヶ町と一体化して、商店街の活性化も併せて図られるような存在になってほしいと思っています。

**よっしい** 既存の商店街と別物ではないという点ですね。

**市長** もちろん、三ヶ町、四ヶ町に限

らず市内のいろいろな地域から進出していただいて「オールさせぼ」の商業施設になることを願っています。雨に濡れずに歩いて回れる歩道の整備や駐車場の共用など、既存の商店街との回遊性をつくり、一体感を醸し出す仕組みづくりを考えています。

それともう一つは、国際航路の開設計画について、釜山と佐世保間のフェリー就航も協議を進めています。今、アジアから大勢の観光客が高速船やフェリーで福岡や下関などを訪れています。その人たちにハウステンボスや九十九島にも近いこの場所を基点にしながら観光を楽しんでいただきたいと思います。国内では人口減少が進んでいるので、中国、韓国など東アジアからどれだけ観光客を誘致できるかが経済発展の鍵を握っています。そのためにも、他県に観光客が流れてしまいう前に、いち早く受け入れ体制を整えなければなりません。

本市が持つ特色を生かせば九州でも有数の「人の交流」の拠点になる可能性がありますと考えています。

ビジネスチャンスを提供

**よっしい** 佐世保が今後どのように変わっていくのか、一層興味が湧きました。最後に、今後の抱負を聞かせてください。

**市長** まずは市民第一主義を基本とする市政を進めていきますので、市民の皆さんと交流を深めながら、多くの情報を施策に反映できるように努め、市民協働で市政を進めていきたいと思っています。もう一つは産業の活性化です。これについては、今やどの自治体でもやっていることです。地域間競争なんです。他の自治体に勝つには、市民の皆さんにとってビジネスしやすい環境を整えるなど、さまざまビジネスチャンスを提供し続けることが大切です。事業が成長し、職を求めて人が増える、所得も上がっていくという良い循環を作り上げていきたいと思っています。

**よっしい** 「はっぴいFM」も放送開始2年目を迎え、番組の改編やパーソナリティの交代など、環境が大きく変わろうとしています。パーソナリティ全員が「顔の見えるラジオ」を目指すという共通の思いを持っていきます。私の今後の目標としては、「笑顔が伝わるラジオ」です。声を通して笑顔を伝え、リスナーと人としてのつながりを大事にしたいと思っています。今度は私の番組にもぜひ出演してください。

**市長** 時間があれば喜んで伺いたいと思います。今日はありがとうございました。

(6月1日・市役所)